

平成29年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	四日市市少年自然の家 四日市市水沢市民広場
所在地	四日市市水沢町字大谷1423-2 四日市市水沢町252-63
指定管理者	<p>名称 株式会社 小学館集英社プロダクション</p> <p>代表者 代表取締役 都築 伸一郎</p> <p>住所 東京都千代田区神田神保町2丁目30番地</p>
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、毎月開催する調整会議において、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握するとともに、指定管理者が実施する主催事業や自然教室については、市職員が適宜行うモニタリングや参加者アンケート等を基に改善点等を協議しました。その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、具体的な業務の履行状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。</p>
担当部課 (問合せ先)	<p>こども未来部こども未来課青少年育成室</p> <p>TEL：059-354-8247</p> <p>E-mail：ikuseishitsu@city.yokkaichi.mie.jp</p>

■ モニタリングの総合コメント

少年自然の家及び水沢市民広場の管理運営状況については、集団宿泊訓練、野外活動、自然探求等を通じて心身ともに健全な青少年の育成を図る社会教育施設としての目的を十分に達成し、概ね事業計画に合致した管理運営が行われました。また、自然を活かした大門池でのカヤック体験や工作体験など民間のノウハウを活かした多様なプログラムを利用者に提供し、指定管理者制度導入の趣旨である効率的・効果的な運営がなされ、指定管理初年度の平成25年度から安定した運営を続けています。

施設運営や利用者への対応については、施設利用者や主催事業の参加者にアンケートを実施し、直接、利用者からの声を聞き、改善点や要望、ニーズに応えるよう努力しています。アンケート結果をみても職員の対応等について高い評価が得られています。また、教育委員会指導課開催の自然教室運営委員会の中でも、指導課・学校等からの意見や要望について、積極的に対応する姿勢が見られました。

また、周辺施設の環境学習情報センター、ふれあい牧場、スポーツランドと連携した4施設合同事業を年2回春と秋に実施したり、地域の祭り（もみじまつり等）や他の施設との共催事業、出前講座を開催したりすることで施設のPRに大きくつながっています。

施設の維持・管理については、施設の老朽化、経年劣化に伴う故障や保守点検での指摘等に対して、適切に修繕を行うなど良好であると判断します。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

平成29年度主催事業については、市と連携した家庭の日応援プロジェクトや年間を通して行う主催事業、野外体験活動、自然素材を活用した工作教室など施設周辺の恵まれた自然環境や民間のノウハウを活かした事業が開催されました。また、利用者からのアンケート結果における要望・意見を反映し、多くの市民が興味を持てるようなテーマや事業内容を検討し、主催事業等のさらなる充実を目指す姿が見られます。

平成30年度からは、指定管理者が変更となるが、これまでの利用者の高い満足度を維持しつつも、施設職員としての資質や接遇の向上はもとより、野外活動等に関して、より良い主催事業等が実施されるよう指導を行います。そして、利用者の視点に立った社会教育施設として効果的な運営を進めるため、毎月の連絡調整会議を通じて、確認及び指導を行います。

施設の老朽化の問題については、指定管理者と市が施設の現状を的確に把握し、利用者が安全かつ快適に施設を利用できるよう、計画的に施設修繕を行う必要があります。

基本的な考え方（施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮）

合目的性・公平性・効果性

少年自然の家条例・水沢市民広場の設置及び管理に関する条例及び仕様書に基づき適切に管理運営が行われました。利用の公平性・平等性の観点から、繁忙月（7月・8月）の利用については、公開抽選会を行うなど、公平性の確保に努めていました。また、ホームページ及び市広報の他、民間の子育て情報誌等を活用するなど、主催事業の広報活動に努めていました。

業務内容

機能性・独創性（事業への具体的な取組み方）

大門池でのカヤック体験や趣向を凝らしたキャンプ活動など、自然を活用した体験活動を幅広く利用者に提供することができました。また、豊富な活動プログラムを準備し、天候や利用者の希望に応じて柔軟に活動を変更することで利用者のニーズに対応していました。また、季節に応じた主催事業や、幅広い年代が参加できるような活動の企画を実施し、指定管理者として独創性を発揮していました。

責任性・実行性（施設の運営体制や組織）

施設は、所長を中心に総務課（経理等を担当）、指導課（主催事業・受入事業を担当）の2課制により組織され、適切に運営されていました。毎朝の朝礼で緊急時体制の確認、引継事項の確認等を行うとともに、月1回以上の職員会議において、主催事業の企画や反省、修繕箇所の対応、安全管理、ヒヤリハット報告と対応策等を協議していました。また、主催事業や施設維持管理に必要な技能習得のために必要な研修（カヤック研修や草刈り機取扱作業衛生教育研修等）を受講し、安全安心な施設の運営に努めていました。

明瞭性・規律性（適正な事務や経理）

施設利用料の収入、給食業務受託者が使用する電気代・水道代の請求及び収入、人件費及び管理費等の支出については、定期的に事業報告及び調整会議で領収書・経理簿等で確認しました。施設の保守点検等の報告書類も作成・整備され、適切に処理されていました。

安全性（安全管理、緊急時等の対応）

危機管理マニュアル及び四日市市・少年自然の家・小学館集英社プロダクションとの緊急連絡体制表を毎年見直しました。そして、感染症対応マニュアルやカヤックの安全基準指導マニュアル等も見直し、適切に対応していました。また、消防計画を作成し、消防訓練・避難訓練・救急救命研修を適切に実施していました。各種警報等の発令時には、利用者等に対して迅速に周知するなど適切に対処していました。

社会性（環境等への配慮）

利用者が出したゴミは原則持ち帰りであることを利用者にも周知し、協力を依頼するなどゴミの減量に努めていました。野外炊事やキャンプファイア等での薪の使用についても、適量での使用を呼びかけるなど環境に配慮するとともに、施設内においても、節電・節水を心がけていました。

事業収支

経済性

指定管理初年度（平成25年度）から実施している開館日数を維持し、主催事業を創意工夫したが、天候の影響もあり、利用者は減少し、利用料金収入及び自主事業収入で当初計画より約47万円の減となりました。

支出については、広報活動も兼ねて、他団体との共催事業や出店を多く無料で実施したことで、支出が増加したもののサービスの維持向上を図りつつ経営努力をしたことで、収支としては約12万円の黒字となりました。

団体の経営状態

経営の健全性

貸借対照表、損益計算書等を分析した結果、経営は安定しており、特に問題はないと判断しました。

その他

障害者雇用に対する取組み

法人における障害者雇用率は1.61%であり、法定雇用率を達成できませんでした。平成30年度からの指定管理者についても、障害者雇用率を達成できるように働きかけていきます。

施設概要調書

1. 施設の概要

平成29年度

施設名	四日市市少年自然の家		所管課: こども未来部こども未来課 青少年育成室
所在地	四日市市水沢町字大谷1423-2		設置年月: 本館 昭和62年11月8日 分館 昭和48年7月31日
設置目的	豊かな自然の中で集団宿泊訓練、自然探求等を通じて、規律、協同、友愛、奉仕の精神を養い、心身ともに健全な青少年の育成を図る。		
設置の根拠 (法令、条例等)	四日市市少年自然の家条例(昭和62年3月31日条例第22号)		
施設の概要	敷地面積 (㎡)	382,000㎡ (うち、ふれあいの森260,000㎡)	
		延床面積 (㎡)	本館3,066㎡ 分館1,339㎡
	設備の概要	本館 構造: 鉄筋コンクリート(地上3階、地下1階) 宿泊定員177人 1階 事務室、医務室、会議室、浴室、総合研修兼体育館等 2階 宿泊室、食堂、リーダー室等 3階 宿泊室、研修室、リーダー室等 分館 構造: 鉄筋コンクリート2階建 宿泊定員101人 1階 研修室、大広間、創作室、乾燥室、リーダー室等 2階 宿泊室、講義室、リーダー室等 キャンプ場、野外炊事場、ふれあいの森、自然の家駐車場	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 少年自然の家及び水沢市民広場の管理運営に関する業務。 少年自然の家及び水沢市民広場の使用許可及び受入等に関する事。 少年自然の家における主催事業の実施に関する事。 少年自然の家の利用料金の徴収等に関する事。 少年自然の家及び水沢市民広場の施設並びに付属施設や設備の維持管理に関する事。 その他、少年自然の家及び水沢市民広場の管理運営に関して四日市市及び教育委員会が必要と認めた事。 		

2. 運営状況

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	
		計画対比	
開館日数	357日	357日	計画通り
開館時間	8:30~17:30	8:30~17:30	計画通り

3. 利用実績

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	
		計画対比	
延べ利用者数	50,000人	53,020人	3,020人
平均利用率	平均	140.0人/日	148.5人/日

4. 事業収支

(単位:円)

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	
			計画対比
指定管理料	69,000,000	69,000,000	0
利用料金	21,654,000	21,371,790	△ 282,210
事業収入	2,945,000	2,766,780	△ 178,220
その他	1,310,000	1,291,512	△ 18,488
収入計	94,909,000	94,430,082	△ 478,918
人件費	45,000,000	38,220,517	△ 6,779,483
管理費	46,168,960	43,107,698	△ 3,061,262
消耗品費	1,911,600	2,578,000	666,400
燃料費	2,808,000	3,360,612	552,612
印刷製本費	1,285,200	1,081,088	△ 204,112
光熱水費	9,176,760	7,454,408	△ 1,722,352
修繕料	3,267,000	3,272,511	5,511
通信運搬費	972,000	1,161,218	189,218
広告料	226,800	645,840	419,040
手数料	3,240,000	3,211,862	△ 28,138
保険料	226,800	479,980	253,180
委託料	11,551,626	11,551,612	△ 14
賃借料	2,453,712	2,361,528	△ 92,184
その他	9,049,462	5,949,039	△ 3,100,423
事業費 (ソフト事業等)	3,740,040	5,991,712	2,251,672
一般管理費	0	6,985,594	6,985,594
支出計	94,909,000	94,305,521	△ 603,479
収 支	0	124,561	124,561

施設概要調書

1. 施設の概要

平成29年度

施設名	四日市市水沢市民広場		所管課：こども未来部こども未来課 青少年育成室
所在地	四日市市水沢町252-63		設置年月：平成 4年10月11日
設置目的	市民がスポーツ及びレクリエーションに親しむことができる場を提供し、もって市民の健康で明るく豊かな生活の形成に寄与する。		
設置の根拠 (法令、条例等)	四日市市水沢市民広場の設置及び管理に関する条例		
施設の概要	設備の概要	敷地面積 (㎡)	10,000㎡
		延床面積 (㎡)	—————
		芝生広場 東屋、トイレ、水沢市民広場駐車場	
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・少年自然の家及び水沢市民広場の管理運営に関する業務。 ・少年自然の家及び水沢市民広場の使用許可及び受入等に関すること。 ・少年自然の家における主催事業の実施に関すること。 ・少年自然の家の利用料金の徴収等に関すること。 ・少年自然の家及び水沢市民広場の施設並びに付属施設や設備の維持管理に関すること。 ・その他、少年自然の家及び水沢市民広場の管理運営に関して四日市市及び教育委員会が必要と認めたこと。 	

2. 運営状況

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	
			計画対比
開館日数	365日	365日	—
開館時間	設定なし	設定なし	—

3. 利用実績

項目		実施計画	実施内容 (事業報告書)	
				計画対比
延べ利用者数		20,000人	25,544人	5,544人
平均利用率	平均	54.7人/日	69.9人/日	15.2人/日

4. 事業収支 (少年自然の家概要調書に含む)

平成29年度 四日市市少年自然の家 運営状況 チェックシート

1. 運営企画

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
開館日数	357日	357日	計画通り	適正に執行された	適
開館時間	8:30~17:30	8:30~17:30	計画通り	利用者がある場合、その活動時間に応じて対応する等、適正に執行された	適
事業開催(回)	57	57	計画通り	適正に執行された	適

2. 利用実績

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否	
延べ利用団体数	400	403	3	適正に執行された	適	
延べ利用者数	50,000	53,020	3,020	適正に執行された	適	
団体種別 利用人数	自然教室等(学校利用)	14,000	17,953	3,953	適正に執行された	適
	青少年・一般・その他	17,000	19,629	2,629	適正に執行された	適
	主催事業	19,000	15,438	△ 3,562	適正に執行された	適
稼働率	平均	140.0人/日	148.5人/日	8.5人/日	適正に執行された	適

3. 事業収支

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
利用料金収入	21,654,000	21,371,790	△ 282,210	宿泊付の主催事業の回数を減らしたことや、天候不良でキャンセルが多く、利用料金や事業収入が減少した	適
指定管理料	69,000,000	69,000,000	0		適
自主事業収入	2,945,000	2,766,780	△ 178,220		適
その他収入	1,310,000	1,291,512	△ 18,488		適
収入計	94,909,000	94,430,082	△ 478,918		適
人件費	45,000,000	38,220,517	△ 6,779,483	勤務体制：正職員7人、臨時職員6人 仕様書のとおり勤務している	適
管理費	46,168,960	43,107,698	△ 3,061,262		適
消耗品費	1,911,600	2,578,000	666,400	・燃料費 使用量は昨年度と同じだが、単価上昇により増額	適
燃料費	2,808,000	3,360,612	552,612		適
印刷製本費	1,285,200	1,081,088	△ 204,112	・光熱水費 職員の努力による節電、節水により減額	適
光熱水費	9,176,760	7,454,408	△ 1,722,352		適
修繕料	3,267,000	3,272,511	5,511	施設のPRと利用案内のため、利用者向けにDVDを作成	適
通信運搬費	972,000	1,161,218	189,218		適
広告料	226,800	645,840	419,040	・保険料 主催事業や自然教室等のイベント保険の加入金の増加分	適
手数料	3,240,000	3,211,862	△ 28,138		適
保険料	226,800	479,980	253,180	・その他 宿泊団体の減少による宿直補助員の手当減と臨時職員の勤務形態変更による手当減額	適
委託料	11,551,626	11,551,612	△ 14		適
賃借料	2,453,712	2,361,528	△ 92,184	主催事業や自然の家実施プログラムの経費が増加。各事業にジュニアスタッフやサポートスタッフを配置し、事業の円滑な進行、利用者の安全安心に努めた	適
その他	9,049,462	5,949,039	△ 3,100,423		適
事業費(ソフト事業等)	3,740,040	5,991,712	2,251,672		適
一般管理費	0	6,985,594	6,985,594		適
支出計	94,909,000	94,305,521	△ 603,479		適
収支	0	124,561	124,561		適

総合コメント

市民への周知・PRや利用者の拡大及びレポート利用に向けての働きかけが実を結び、利用者は昨年より減少していますが5万人を超えています。収入については、利用料金収入及び自主事業収入が当初計画より約47万円減となりました。支出については、サービスの維持向上を図りつつ、施設の日常点検の回数を増やして施設のメンテナンスをこまめに行うことで施設管理の経費削減に努めています。燃料費や光熱水費にかかる使用量は当初計画より約116万円も削減しています。これは、電気設備の経年劣化によりLEDの機器に取り換えたこと、施設職員の節電努力によるものと判断できます。引き続き、運営の在り方や職員の節約に対する意識を高めていく必要があります。収支としては、約12万円の黒字となりました。

平成29年度 少年自然の家及び水沢市民広場 運営状況 チェックシート①-2

項目		事業分析	適否判断
	利用実績	<p>少年自然の家利用者は53,020人（水沢市民広場を利用した人は25,544人）となり、目標の50,000人を上回りました。主な要因としては、次の3点が考えられます。</p> <p>①指定管理初年度の平成25年度から実施してきた年末年始の期間を除く全ての期間の開館が利用者に定着したこと。</p> <p>②利用者の声にしっかりと耳を傾け、ニーズに対応した事業や体験活動を実施していること。</p> <p>③自然の家職員の利用者への対応やサービスに対する評価が高いこと。</p> <p>また、利用者の満足度は98%と高い評価を受けています。さらに安全・安心に活動してもらえるように、イベントについて専門家を講師として招いたり、多くのサポートスタッフと協働して実施したりする運営力も高く評価できます。</p> <p>水沢市民広場の利用者は、昨年より4,000人程度増加しました。これまで自然の家施設内で行っていた事業を水沢市民広場を会場に変更して行ったことや、水沢地区単独イベントの利用者が増加したことによるものと思われます。</p>	適
事業 収支	収入	<p>昨年度から実施している市民への周知・PRや利用者の拡大及びリピート利用に向けての取り組みが着実に利用実績の向上へとつながるものの、天候不順等で、宿泊のキャンセルや宿泊期間の短縮の申し出が前年度より多く、また、宿泊を伴う主催事業の縮小により、参加者や利用料金が減少するなどの影響がありました。このことにより、当初計画より利用者は減少し、料金収入及び自主事業収入が当初計画より約47万円減となりました。</p>	適
	支出	<p>事業費が計画より支出増となりました。これは、少年自然の家で体験できる活動をより多くの方に周知するために参加費を無料とした事業や、出前講座の実施にあたり、材料費などのコストが計画より多くかかったことが主たる要因です。また、主催事業の充実を目指し事業内容の質を高めるために、サポートスタッフやジュニアスタッフを増やし、参加者の安全安心を高めたことも、一因となりました。</p> <p>光熱水費などは日常的に全職員が施設内を点検し、簡易な修繕やふれあいの森の整備を作業員及び職員により行うなど、コストの削減に努め、支出を抑える努力を適切に行っています。</p>	適

平成29年度 少年自然の家及び水沢市民広場 業務の履行状況 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否
総則	業務従業者の要件等 法令等の遵守	業務執行体制（各業務・作業責任者等）が明確になっているか、また、変更した場合連絡先を市に届出されているか	書面確認	適正に実施されている	適
		法令等で定められた書類を提出したか	書面確認	適正に実施されている	適
	報告書等の提出	各業務計画書・報告書は提出されたか	書面確認	適正に実施されている	適
		自主事業の計画書・報告書は提出されたか	書面確認	適正に実施されている	適
		収支予算書・決算書は提出されたか	書面確認	適正に実施されている	適
	意思疎通	市と指定管理者の責任者との間で十分に連絡がなされているか	現地確認	毎月の連絡調整会議や、メール等にて十分に情報共有が行われている	適
	各種管理記録等の整備 保管	各種業務計画書が整備、保管されているか	書面確認	適正に整備・保管されている	適
		業務日誌等の報告書、点検記録は整備、保管されているか	書面確認	適正に整備・保管されている	適
		整備・修繕・事故・故障の履歴は整備、保管されているか（事業期間終了時まで）	書面確認	適正に整備・保管されている	適
		付保している保険を市に通知しているか（更新を含む）	書面確認	適正に通知されている	適
非常時・緊急時の対応	緊急事態発生時の対処マニュアル（緊急連絡網の掲示を含む）が整備、保管されているか	書面確認	適正に整備・保管されている	適	
	緊急発生時、ないし危険が予測される場合に直ちに措置を講じたか	現地確認 書面確認	緊急時に備える体制は整えられている	適	
	事故等の報告書が提出されたか	現地確認 書面確認	緊急の事故等については速やかに報告するよう体制が整えられている	適	
建築物保守管理	点検・保守	点検・保守は確実に実行されているか	書面確認	建築定期点検を実施している	適
		法定点検、検査は選任資格者の責任によって計画・実施されているか	書面確認	適正に実施されている	適
設備保守管理	取扱説明書	機器等の取扱説明書が整備・保管されているか	現地確認	適正に整備・保管されている	適
	点検・保守	点検・保守は確実に実行されているか	書面確認	建築設備・昇降機・消防用設備・防火対象物点検を実施している	適
		法定点検、検査は選任資格者の責任によって計画・実施されているか	書面確認	適正に実施されている	適
備品・什器等保守管理	取扱説明書	機器等の取扱説明書が整備・保管されているか	現地確認	適正に整備・保管されている	適
	点検・保守	点検・保守は確実に実行されているか	書面確認	適正に実施されている	適
外構施設保守管理	点検・保守	点検・保守は確実に実行されているか	書面確認	適正に実施されている	適
清掃業務	清掃	清掃は確実に実行されているか	書面確認 現地確認	適正に実施されている	適
警備業務	業務等	業務が計画書に基づいて実施されているか	書面確認 現地確認	適正に実施されている	適
		不審者に対し適宜質問をしたり、警察へ通報する等のマニュアルを作成しているか	書面確認	適切に実施されている	適
	鍵管理	マスターキー等の管理は適切か	現地確認	適切に実施されている	適
	防災	マニュアルは作成されているか	書面確認	適切に実施されている	適
植物育成管理業務	樹木管理	剪定時期等は適切か	書面確認 現地確認	適切に実施されている	適
	花壇管理	四季の植栽は適切か	現地確認	適切に実施されている	適
施設利用案内	行事開催案内	パンフレット類は整備されているか	現地確認	適切に整備されている	適
	ホームページ作成	ホームページは更新されているか	ホームページ確認	随時確認 適切に更新されている	適
管理システム受付業務	機器管理	研修を実施しているか	-	-	-
	システム管理	更新・変更は常になされているか	-	-	-
		トラブルに対応したか	-	-	-
<p>総合コメント 法令の規定及び仕様書で定めた書類の提出及び経理簿、保守点検の結果等適正に処理されていました。 調整会議では、毎月の利用状況、収支、職員の配置体制、保守点検の結果及び利用者アンケートの結果、翌月の自主事業計画について協議・確認を行い、適正に処理していることを確認しました。</p>					

平成29年度 少年自然の家 自主事業の実施状況 チェックシート

項目	実施計画	実施内容	検証・分析等	適否
1 平成29年4月8日(土) ジュニアスタッフ研修①	対象：ジュニアリーダー 参加者固定：24人 期間：日帰り	登録者数：25人 参加者数：25人 ・ワークショップ	人材育成を基本としたプログラムであり、レクリエーションや野外炊事、マナー講習を行い、自然の家の主催事業でスタッフや参加者をサポートできる体制をとれるよう研修していた。	適
2 平成29年4月16日(日) 家庭の日応援プロジェクト4月	対象：家族・一般 募集人数：なし(施設開放) 期間：日帰り	参加者数：22家族75人 ・自然観察 ・キーホルダーづくり ・山菜探し ・ベリーダンス講座	山菜探しやてんぷらを食べたり、キーホルダーづくりをしたり、幼児から大人まで体験活動ができる内容であった。自然の家のスタッフが丁寧に説明しており、参加者たちも気軽に活動できる事業であった。	適
3 平成29年4月22日(土)、 23日(日) 春のワクワクふれあい祭り	対象：家族・一般 募集人数：なし(施設開放) 期間：日帰り2日間 4施設合同イベント	参加者数：延べ5,099人 22日：869人 23日：4,230人 ・遊び体験コーナー ・模擬店 ・工作コーナー	近隣4施設で毎年恒例の事業を行ったが、小学校の土曜授業と日程が重なり、参加者が少なかったため、日程調整が必要となる。二日目は天候もよく、たくさんの方の参加者に恵まれ、例年並みの人出となった。	適
4 平成29年4月29日(土) 山菜クッキング	対象：家族・一般 募集人数：60人 期間：日帰り	応募者数：149人 参加者数：90人 ・山菜採取 ・山菜の天ぷら試食	山菜の見分け方などを学び、自然の家周辺で山菜を採取した。その後、講師先生が事前に用意していた山菜を班単位で調理して食べた。この事業は、幅広い年代の参加者となり、参加者の満足度の高い事業であった。	適
5 平成29年4月30日(日) RED隊①	対象：小4～中3 募集人数：40人 期間：日帰り	応募者数：53人 参加者数：50人 ・保護者説明会 ・入隊式 ・交流会 ・創作活動	毎年恒例のリーダーシップを育む研修であり、参加者が最多の50人となった。これから1年間活動する中で、参加者のチームワークを期待した取り組みとなった。	適
6 平成29年5月3日(水) ～5月4日(木) まるごと自然の家！(指導者養成)	対象：リーダー登録者 (高校生、大学生、一般) 参加者固定：16人 期間：1泊2日	応募者数：30人 参加者数：16人 ・野外活動の実践 ・リーダーとしてのスキルアップ ・テント泊	自然の家の主催事業のサポートスタッフの研修であり、昨年度より人数が多く、交流の場も持ったことにより、満足度が高かった。今後も自然の家のスタッフを助けうる頼もしい存在を育ててほしい。	適
7 平成29年5月7日(日) 家族でカヤック体験	対象：家族・一般 募集人数：160人 (各回20組40人、4回) 期間：日帰り	応募者数：160人 参加者数：132人 ・カヤック体験	定員を超える応募があり、1日3回の予定を4回に増やし対応していた。指導にあたる職員は、事前に研修を積み、陸上と水上からそれぞれ監視にあたり、安全面には十分な配慮をしていた。	適

項目	実施計画	実施内容	検証・分析等	適否
8 平成29年5月14日(日) ちびっこデイキャンプ①	対象：小1～小3 募集人数：30人 期間：日帰り	応募者数：141人 参加者数：31人 ・テント体験 ・野外炊事 ・キーホルダーづくり	昨年度のアンケートで人気の高い連続事業を日帰りたくさん参加者に楽しんでもらえるよう企画した。応募者も多く、参加者も初めて見るテントやマッチに目を輝かせていた。刃物も指導の下、安全に扱うことができていた。	適
9 平成29年5月21日(日) 家庭の日応援プロジェクト5月	対象：家族・一般 募集人数：なし(施設開放) 期間：日帰り	参加者数：54家族197人 ・お茶摘み体験 ・手もみの製茶体験	大門池広場のお茶摘み体験は、リピーターや家族連れが参加し、茶娘衣装に着替えて写真撮影をしたり、指導員の丁寧な説明があったりと盛況であった。分館内の茶揉みも、スタッフや指導員が細やかに接客にあたっていた。	適
10 平成29年5月27日(土) ～28日(日) RED隊②	対象：小4～中3 参加者固定：44人 期間：1泊2日	参加者数：44人 ・テント設営 ・野外炊事 ・キャンプファイアー ・自然体験	小学校の運動会が終わった後からも参加する様子があり、人気の高さがうかがえる事業である。テント設営や野外炊事、キャンプファイアーなど一つの活動を確実にこなせるよう、スタッフを中心に臨機応変に取り組むことができた。	適
11 平成29年6月3日(土)～4日(日) プチサバイバルキャンプ	対象：小4～中3 募集人数：40人 期間：1泊2日	応募者数：31人 参加者数：30人 ・疑似災害時の生活体験 ・野外炊事 ・ドラム缶風呂 ・災害伝言ダイヤル体験	昨年度に引き続き、防災をテーマに行った事業である。起震車で揺れを体験したり、NTT伝言ダイヤルを体験したりするなど不便を感じつつも防災に向けた取り組みに満足度が高かった。	適
12 平成29年6月11日(日) ちびっこデイキャンプ②	対象：小1～小3 募集人数：30人 期間：日帰り	応募者数：177人 参加者数：35人 ・テント体験 ・野外炊事 ・キーホルダーづくり	2回目も予想通り応募者も多く、参加者も初めて見るテントやマッチに目を輝かせていた。刃物も指導の下、安全に扱うことができていた。	適
13 平成29年6月17日(土) 家族でカヤック体験	対象：家族・一般 募集人数：120人 (各回10組20人、3回) 期間：日帰り	応募者数：107人 参加者数：83人 ・カヤック体験	天候に恵まれ、熱中症対策を行いながら、指導にあたる職員は、事前に研修を積み、陸上と水上からそれぞれ監視にあたり、安全面には十分な配慮をしていた。	適
14 平成29年6月18日(日) 家庭の日応援プロジェクト6月	対象：家族・一般 募集人数：なし(施設開放) 期間：日帰り	参加者数：44家族145人 ・茶つみ体験 ・かぶせ茶カフェのかぶせ茶試飲・茶の天ぷら試食 ・お茶工場見学 ・グラウンドゴルフ	今回より、かぶせ茶カフェ(マルシゲ清水製茶)との共催で、茶摘み体験→お茶の天ぷらの試食・かぶせ茶試飲と、非常によく考えられたプログラムであった。ジュニアスタッフ等もたくさん参加しきめ細やかな運営ができていた。	適

項目	実施計画	実施内容	検証・分析等	適否
15 平成29年6月24日(土) ～25日(日) わくわく自然探検①	対象：小3～中3 募集人数：40人 期間：1泊2日	応募者数：45人 参加者数：45人 ・川や山で生き物探し ・昆虫トラップ	川の生き物を捕獲したり、夜間に集まる虫やモリアオガエルの卵を観察したりした。参加者らは、生き物とふれあったり、講師先生のお話を聞いたりして、楽しみながら活動していた。	適
16 平成29年7月1日(土) ～2日(日) RED隊③	対象：小4～中3 参加者固定：51人 期間：1泊2日	参加者数：48人 キャンプの達人 ・テント設営 ・カヤック ・野外炊事	参加者は、活動の中で話を聞く姿勢などが早くできるようになった。サポート、ジュニアスタッフの人数が多く、手厚い体制になる反面、時間にルーズになるため、サポート、ジュニアスタッフの役割を見直すことも必要だと思われる。	適 (条)
17 平成29年7月8日(土) ～9日(日) わくわく自然探検②	対象：小3～小6 募集人数：40人 期間：1泊2日	応募者数：82人 参加者数：38人 ・川や山で生き物探し ・生き物探し	暑い日のため、熱中症に注意が必要な活動であった。参加者は、その暑さに負けないぐらい活動を楽しんでいた。川に入っただけの生き物探しや昆虫トラップなど、普段体験できない内容にとっても満足していた。	適
18 平成29年7月16日(日) 家庭の日応援プロジェクト7月	対象：家族・一般 募集人数：なし(施設開放) 期間：日帰り	参加者数：850人 ・マスカみ体験 ・ツリーハウス登頂体験 ・小川生き物観察体験	地元情報紙に掲載され、天気にも恵まれた三連休の中の日という条件により、過去最高の人出になった。マスカみ体験は行列ができるほどの盛況で、自分で捕ったマスを食べたいと内臓抜きやホイル焼きも人気であった。	適
19 平成29年7月17日(月) 家族でカヤック体験	対象：家族・一般 募集人数：120人 (各回15組30人、4回) 期間：日帰り	応募者数：158人 参加者数：122人 ・カヤック体験	天候が良かったこともあり、参加者は楽しそうにカヤックに乗っていた。熱中症対策として、スポーツドリンクや休憩所の用意ができていた。また、こまめな水分補給の声掛けを行っていた。	適
20 平成29年8月8日(火) アウトドアセミナー①	対象：市内の小中学校教諭 募集人数：40人 期間：日帰り	応募者数：52人 参加者数：52人 ・野外炊事 (理論と実技)	教育委員会事務局指導課との連携事業で、若手教員のための研修会である。経験の少ない野外炊事の指導の仕方を実技を通して、自然の家の職員が行った。青少年の健全育成の担い手である教員に対して、自然の家の果たす役割が大きいと感じた。	適
21 平成29年8月8日(火) アウトドアセミナー②	対象：市内の小中学校教諭 募集人数：40人 期間：日帰り	応募者数：22人 参加者数：22人 ・カヤック体験 (理論と実技)		

項目	実施計画	実施内容	検証・分析等	適否
22 平成29年8月10日(木) 家族でカヤック体験	対象：家族・一般 募集人数：120人 (各回20組40人、3回) 期間：日帰り	応募者数：28人 参加者数：24人 ・カヤック体験	人気の高いカヤック体験ではあるが、天気が悪かったのと、お盆休み前の平日という日程設定もあり、参加者は少なかったが、その分、参加者に目配りができ、細やかな指導と配慮が行き届いていた。	適
23 平成29年8月16日(水) 家族でカヤック体験	対象：家族・一般 募集人数：120人 (各回20組40人、3回) 期間：日帰り	応募者数：111人 参加者数：95人 ・カヤック体験	前回に引き続き、雨が降るあいにくの天候ではあったが、お盆休み期間ということで前回より多くの参加があった。お風呂の準備や雨天時の待機場所等雨宿りができる対応を行い、利用者の満足度は高かった。	適
24 平成29年8月18日(金) ～19日(土) わくわく自然探検③	対象：小3～中3 募集人数：40人 期間：1泊2日	応募者数：48人 参加者数：43人 ・昆虫採集(トボ・バグ) ・虫かごづくり ・ライトトラップ観察	天候が悪く、トラップを設置しても虫の集まりにくい状況ではあったが、初めて昆虫採集をする子ども、班付リーダーがサポートすることで楽しむことができていた。	適
25 平成29年8月20日(日) 家庭の日応援プロジェクト8月	対象：家族・一般 募集人数：なし(施設開放) 期間：日帰り	参加者数：372人 ・魚つかみ ・ツリーハウス登頂体験 ・小川の生物観察	7月の家庭の日応援プロジェクトに引き続き、小川遊び、マスつかみを計画した。参加者の9割は、号外チラシや地域広報誌を見てきたという結果から、広報活動の成果が見られた。	適
26 平成29年8月23日(水)～ 25日(金) 夏を楽しもう！キャンプ	対象：小4～中3 募集人数：40人 期間：2泊3日	応募者数：54人 参加者数：42人 ・テント設営 ・カヤック体験 ・野外炊事 ・水遊び	昨年に引き続き、皇學館大学のゼミ生と一緒に活動した。とても暑い日であったが、体調不良の子どもは出なかった。学校との連携業務がうまくいった事例であった。	適
27 平成29年8月27日(日) 家族でカヤック体験	対象：家族・一般 募集人数：120人 (各回20組40人、3回) 期間：日帰り	応募者数：134人 参加者数：126人 ・カヤック体験	今回は日曜日ということで参加者が多く、とてもにぎわっていた。未就学の子どもにもパドルを持たせずに乗せていたが、安全性に問題があるため、今後の検討としたい。	適 (条)
28 平成29年9月3日(日) 森のオープンデー	対象：家族・一般 募集人数：なし(施設開放) 期間：日帰り	参加者数：1,916人 ・自然と生き物とのふれあい体験活動 ・クラフト体験 ・リズム遊び教室	リズム遊び教室や万古焼の蚊やり豚の色付けや施設見学など新規の出展に人気があった。今回よりスリッパの持参をチラシに明記したら、持参された方が多く、広報の成果を見ることができた。	適

項目	実施計画	実施内容	検証・分析等	適否
29 平成29年9月10日(日) RED隊④	対象：小4～中3 参加者固定：51人 期間：日帰り	参加者数：42人 ・カヤック体験 ・缶バッジ作り ・野外炊事	RED隊参加者はカヤックは二度目であるため、意欲的に活動できた。サポートスタッフが自主的に動くことができていなかったため、最初だけでも職員が間に入って指導するなどの対応を期待する。	適 (条)
30 平成29年9月17日(日) 家庭の日応援プロジェクト9月	対象：家族・一般 募集人数：なし(施設開放) 期間：日帰り	参加者数：11家族40人 ・森の工作教室 キーホルダー作り のこぎり体験	天候不良のため、屋内での実施に変更した。里山保全活動からのこぎり体験へと変更したが、自由に創作活動ができたため、参加者には満足度の高い事業となった。	適
31 平成29年9月18日(月) ジュニアスタッフ研修②	対象：小5～中3 参加者固定：39人 期間：日帰り	参加者数：11人 ・子ども体験遊びリンピック企画	10月に行う子ども体験遊びリンピックの種目決めと接客について学ぶことが目的であった。子どもたちの柔軟な発想とアイデアにより新しい種目が増え、ルール決めや準備も進めていた。	適
32 平成29年9月30日(土) 10月1日(日) 秋のワクワクふれあいまつり	対象：家族・一般 募集人数：なし(施設開放) 4施設合同イベント 期間：日帰り	参加者数：延べ5,108人 30日：1,136人 10月1日：3,972人 ・クラフト ・ステージ ・工作コーナー	星の広場を中心にイベントを行った。参加者は県外からの参加者もあり、自然の家の知名度の向上がうかがえた。運営面では、ブースごとに客の増減があったため対策が必要であると伝えた。	適 (条)
33 平成29年10月7日(土) ちびっこ隊3-1	対象：小1～小3 募集人数：30人 期間：日帰り	応募者数：129人 参加者数：32人 ・森の探検 ・ネイチャービンゴ ・葉っぱのしおりづくり ・名札づくり	初めてのメンバーということで、プログラムの時間を長めにとることで班員の交流や活動がしっかりできていた。男の子が多く、まとまりのない雰囲気であったため、スタッフの確保と目配り気配りが大事であると思われる。	適
34 平成29年10月8日(日)～9日(月) 山のぼり隊	対象：小4～中3 募集人数：24人 期間：1泊2日	応募者数：42人 参加者数：30人 ・御在所岳登山	高校の山岳部顧問と部員にボランティア協力を依頼し、きめ細やかなサポートを行っていた。当日の天候でスケジュールの変更を臨機応変に行っていた。大きな混乱もなく、安全に十分な配慮を行い、実施できた。	適
35 平成29年10月15日(日) 家庭の日応援プロジェクト10月	対象：家族・一般 募集人数：なし(施設開放) 期間：日帰り	参加者数：32家族103人 ・遊びリンピック	降雨のため自然の家の体育館他にて開催された。サポートスタッフ7人、ジュニアスタッフ15人が各ブースに配置され、十分な来客対応が行われていた。家族そろって参加でき楽しめる内容が企画されていた。	適

項目	実施計画	実施内容	検証・分析等	適否
36 平成29年11月3日(金) アウトドアクッキング	対象：家族 募集人数：70人 期間：日帰り	応募者数：286人 参加者数：81人 ・蒸し鶏の丸焼き ・石窯ピザづくり	石窯で焼くピザはとてもおいしいと毎年好評である。今年度はダッチオーブンを準備し、各家族が1匹ずつ鶏の丸焼きを経験することができた。野外での調理体験は人気が高く、満足度も高かった。	適
37 平成29年11月4日(土)～5日(日) 家族でキャンプ	対象：家族・一般 募集人数：10家族又は40人 期間：1泊2日	応募者数：89人 参加者数：14家族51人 ・テント設営、宿泊 ・野外炊事 ・家族対抗レクリエーション ・焼き杉写真立て作り	夕方から天気が崩れたり、11月の気候で寒いという声も聞かれたが、身体を動かすプログラムやアウトドアクッキングは好評であり、自然の中で家族の絆を深めることができていた。	適
38 平成29年11月11日(土)～12日(日) RED隊⑤	対象：小4～中3 参加者固定：51人 期間：1泊2日	参加者数：45人 ・里山体験 ・野外炊事 ・キャンプファイヤー ・創作活動	里山体験では、初めてのこぎりを扱う隊員が多くいたため、慎重に体験活動を行っていた。創作活動が多い行程であったが、隊員たちは楽しそうに活動していた。	適
39 平成29年11月19日(日) 家庭の日応援プロジェクト 11月	対象：家族・一般 募集人数：なし(施設開放) 期間：日帰り	参加者数：12組40人 ・グラウンドゴルフ ・遊びコーナー ・サンシャインベリー	星の広場にてグラウンドゴルフ大会を実施した。指導は水沢地区の老人会の方に依頼し、参加者と地元の方との交流ができていた。	適
40 平成29年11月25日(土) ちびっこ隊3-2	対象：小1～小3 参加者固定：33人 期間：日帰り	参加者数：30人 ・マッチの火つけ ・野外炊事 ・レクリエーション ・キーホルダーづくり	隊員たちは初めて扱うマッチに興味深々であり、納得するまで体験できたことが大きな自信となった。野外炊事も火の取り扱いに注意しながら、おいしい昼食を協力して作っていた。	適
41 平成29年11月26日(日) もみじ祭り歩こう会	対象：家族・一般 募集人数：なし ※もみじ祭り実行委員会が募集 期間：日帰り	参加人数：75人 ・少年自然の家からふれあい牧場経由で宮妻峡までのウォーキング	職員が先頭・中・最後尾にいて、参加者のペースに合わせて一緒にゴールまで歩いていた。参加者が景色や会話を楽しみながら、安全にゴールできるよう、無線で連絡を取り合いながら地元のイベントに貢献していた。	適
42 平成29年12月3日(日) クリスマスリースづくり	対象：家族・一般 募集人数：40人 期間：日帰り	応募者数：138人 参加者数：52人 ・自然物を使ったクリスマスリースづくり ・キャンドルづくり	毎年、応募者が多い事業のひとつである。自然の家の作業員もリースの制作、キャンドル作りを手伝っていた。リース作りに必要な自然の素材がたくさん用意されていたため、どのグループも素敵なリースを作成していた。	適

項目	実施計画	実施内容	検証・分析等	適否
43 平成29年12月9日(土) ～10日(日) ちびっこ隊3-3	対象：小1～小3 参加者固定：33人 期間：1泊2日	参加者数：33人 ・マッチの火つけ ・野外炊事 ・レクリエーション ・木の工作	今回のテーマが『おとまりに ちょうせん』のため、初めての 宿泊体験にサポートスタッフを 多く配置し、参加者の様子を細 やかにフォローすることができ た。参加者や保護者の満足度も 高く、次年度の開催も期待した い。	適
44 平成29年12月17日(日) 家庭の日応援プロジェク ト12月	対象：家族・一般 募集人数：なし(施設開放) 期間：日帰り	参加者数：25家族90人 ・クリスマス飾り創作 ・ミュージックベル体験	クリスマスをテーマにリース やミニツリー、キャンドル製作 やミュージックベル体験などを 取り入れて、利用者がたくさん の体験ができるようにしてい た。小さな子どもでも一人で できるものがあり、満足度も高 かった。	適
45 平成29年12月23日(土) 手づくりミニ門松づくり	対象：家族・一般 募集人数：午前・午後各回40人 期間：日帰り	応募者数：315人 参加者数：109人 ・自然物を使ったミニ門松づく り	毎年恒例の事業で、とても人 気が高い事業である。門松製作 の難しい作業は作業員の手を借 り、参加者全員が門松を完成さ せていた。また、別室で積木 コーナーを作り、子ども達が空 き時間も満足できるような運営 方法が工夫されていた。	適
46 平成29年12月24日(日) RED隊⑥	対象：小4～中3 参加者固定：50人 期間：日帰り	参加者数：50人 ・クリスマスパーティー	3月に行う卒業パーティーの 予行練習として班単位で野外炊 事で調理を行った。薪を必要数 しか使わないなど、自分たちで ルールを決めたり、手が空いた 場合は他の人を手伝うなど班員 同士で助け合う姿を見ることが できた。	適
47 平成30年1月21日(日) 家庭の日応援プロジェク ト1月	対象：家族・一般 募集人数：なし(施設開放) 期間：日帰り	参加者数：75家族270人 ・餅つき体験 ・凧づくり体験	天気も良く、昔ながらの餅つ き体験をするということで、寒 い時期としては、多くの参加者 が来場し満足度の高い内容と なった。衛生上、つきたてのも ちは提供できなかったが、市販 品の餅を用意し、対応してい た。	適
48 平成30年1月28日(日) ちびっこデイキャンプ③	対象：小1～小3 募集人数：30人 期間：日帰り	応募者数：101人 参加者数：30人 ・雪遊び ・テント遊び ・野外炊事、マッチ練習 ・キーホルダーづくり	前日に雪が積もったため、来 所時に積雪情報を参加者に伝 え、雪遊びも取り入れ、野外炊 事も行ったことで、保護者にも 参加者にも満足度の高い事業と なった。	適
49 平成30年2月3日(土) ～4日(日) RED隊⑦	対象：小4～中3 参加者固定：50人 期間：1泊2日	参加者数：38人 ・木のベンチづくり	RED隊の卒業制作として、 木のベンチを作った。木材のヤ スリがけをととても丁寧に行い、 満足度のいくものが完成した。ス タッフと参加者がともに作り上 げていく過程でより良いものを 作ろうとする意識が高く見え た。	適

項目	実施計画	実施内容	検証・分析等	適否
50 平成30年2月10日(土)～11日(日) 家族でキャンプ	対象：家族・一般 募集人数：10家族又は40人 期間：1泊2日	応募者数：10家族31人 参加者数：7家族23人 ・ワックスボール作り ・食事、おやつ作り ・キャンドルファイヤー ・焼き杉写真立て作り	家族で取り組める作業や調理が数種類準備されていた。小雨が降っていたため、野外で行う予定であったお菓子作りは、食堂で行っていた。どの家族も楽しめるようなプログラムが実施されていた。	適
51 平成30年2月18日(日) 家庭の日応援プロジェクト2月 自然の家のオープンデー	対象：家族・一般 募集人数：なし(施設開放) 期間：日帰り	参加者数：2,077人 ・工作ブース ・浴場解放、宿泊室見学	出展団体が12団体あり、パステルアートや勾玉作りなどの工作ブースが特にぎわっていた。風呂解放や宿泊室見学など、自然の家を知ってもらう取組みを入れて、来場者への知名度を高めていた。	適
52 平成30年2月24日(土)～25日(日) ハンターキャンプ	対象：小4～小6 募集人数：40人 期間：1泊2日	参加者数：39人 ・逃走中、肝試し ・工作(写真立て) ・野外炊事	サポートスタッフを中心に内容を企画・運営を行った。サポートスタッフが事業に意欲的に取り組み、楽しんでいたため、参加者にもそれが伝わったのか、満足度が高く、充実した事業となった。	適
53 平成30年3月3日(土)～4日(日) わくわく自然探検④	対象：小3～中3 募集人数：40人 期間：1泊2日	応募者数：21人 参加者数：21人 ・野鳥観察 ・野鳥マップの作成	2日間とも晴天で野鳥観察を行うことができた。野外観察に出かける前に双眼鏡の使用方法や、野鳥の観察の仕方について講師からしっかりと説明があり、子ども達は興味を持ってフィールドワーク(野鳥観察)を行っていた。	適
54 平成30年3月11日(日) RED隊⑧	対象：小4～中3 参加者固定：50人 期間：日帰り	参加者数：45人 ・終了式	RED隊の終了の日は活動成果の発表として野外調理を行い、保護者をもてなした。子どもたちが手際よく調理・接待を行った。保護者も子どもたちの成長を目の当たりにできたことで満足度の高い事業となった。	適
55 平成30年3月18日(日) 家庭の日応援プロジェクト3月	対象：家族・一般 募集人数：なし(施設開放) 期間：日帰り	参加者数：87人 ・木の車をつくろう ・のこぎり体験 ・自由工作	木の車を作ろうをテーマに親子で作成・参加できる企画となった。子ども達はのこぎりを利用することがないため、親が危険を教えながら、子ども達は刃物の扱いについて学ぶなど、親子のふれあいとしてよくできた企画であった。	適
56 平成30年3月21日(水) ジュニアスタッフ研修③	対象：小5～中3 参加者固定：39人 期間：日帰り	参加者数：15人 ・ジュニアスタッフ懇談会	1年間の集大成として、親子で楽しむ運動会を企画・立案・実施した。自然の家の事業のサポートは彼らなしでは運営できないこともあるため、1年間の活動の成果を保護者やスタッフに向けて発表することができた。	適

総合コメント

施設の設置目的に基づき、自然体験事業や人材育成事業が積極的に実施されました。スタッフの創意工夫のもと、バラエティ豊かなプログラムが提供され、参加者が少なくなる冬場も利用率を上げる努力を行い、利用者のニーズに合った事業を開催しました。また、応募型の事業について、募集人数を大きく上回る応募があった事業が幾つかありましたが、柔軟に対応した部分もあり、利用者の満足度を高めています。

前年度からのジュニアスタッフが、事業の企画・運営に関わるが多くなり、宿泊事業や参加人数の多い事業については、職員だけでは目が行き届かない参加者の補助を行うなど、安全安心に活動ができるようにフォローをしていました。

平成29年度 少年自然の家及び水沢市民広場 設備・備品の維持管理状況 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否
総則	意思疎通	市と指定管理者の責任者との間で十分に連絡がなされているか	現地確認	毎月実施している調整会議のほか日常的に電話・メール等でも連絡を密に取っている	適
	記録	整備・修繕・事故・故障の履歴は整備、保管されているか	書面確認 現場確認	適切に保管されている	適
建築物保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	書面確認 現場確認	建築定期点検を実施。適切に行われている	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	書面確認 現場確認	適切に行われている	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	書面確認 現場確認	速やかに行われている	適
	修理	修繕工事は適切であったか	書面確認 現場確認	適切に実施されている	適
設備保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	書面確認 現場確認	建築設備・昇降機・消防用設備・防火対象物点検を実施 適切に行われている	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	書面確認 現場確認	適切に行われている	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	書面確認 現場確認	速やかに行われている	適
	修理	修繕工事は適切であったか	書面確認 現場確認	適切に実施されている	適
備品・什器等保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	書面確認 現場確認	速やかに行われている	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	書面確認 現場確認	適切に行われている	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	書面確認 現場確認	速やかに行われている	適
	修理	修繕工事は適切であったか	書面確認 現場確認	適切に実施されている	適
外構施設保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	書面確認 現場確認	速やかに行われている	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	書面確認 現場確認	適切に行われている	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	書面確認 現場確認	速やかに行われている	適
	修理	修繕工事は適切であったか	書面確認 現場確認	適切に実施されている	適

総合コメント

少年自然の家は、建築後、本館（昭和62年建築）は32年、分館（昭和48年建築）は45年経過しているため、経年劣化に伴う軽微な不具合について施設修繕の機会が増えています。専門性が高いものを除き、職員や作業員が修繕を行うことで経費削減に努めています。修繕の実施についても、緊急性の高いものは市担当課と電話などで協議を行い、工事を行うなど、常に情報交換や連絡を行い、完了報告や書類等は毎月開催する市と指定管理者との連絡調整会議において確認しています。

平成29年度 少年自然の家及び水沢市民広場 サービスの質 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否	
運営業務	使用許可、 利用料金の 徴収	スムーズに予約できたか	現地確認	適切に実施されている	適	
		許可証は速やかに発行されたか	現地確認	適切に実施されている	適	
	施設・利用 案内	行事開催案内の時期は適切か	書面確認	市広報、ホームページ及び募集チラシを確認 適切に実施されている	適	
		ホームページは見易いか	ホームページ確認	適切に作成・更新されている	適	
	受付・対応 業務	担当者の接客態度は良かったか	アンケート結果 及び現地確認	利用者アンケート結果「大変満足」「満足」を選択された割合良好である	適	
		利用者に対する指導は適切であったか	アンケート結果 及び現地確認	利用者アンケート結果「大変満足」「満足」を選択された割合 適切に実施されている	適	
		業務従業者は名札を着用しているか	現地確認	毎月の調整会議において現地で確認 適切に実施されている	適	
	運営業務	講座やイベントは満足できる内容であったか	アンケート結果 及び現地確認	利用者アンケート結果「大変満足」「満足」を選択された割合 適切に実施されている	適	
	維持管理業務	施設・設備 の保守管理 業務	施設が利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	現地確認	適切に管理されている	適
			設備が利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	現地確認	適切に管理されている	適
清掃業務		トイレトーパー、消毒用品、手洗い用石鹸は常に補給されているか	現地確認	適切に実施されている	適	
		全体的（駐車場を含）に、見た目清潔に保たれているか	現地確認	適切に実施されている	適	
警備業務		避難経路には障害物がないか	現地確認	適切に実施されている	適	
外構・植栽 管理業務		機能・美観が良好な状態に保たれ、利用者が安全に利用することができるか	現地確認	適切に実施されている	適	
		利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	現地確認	適切に実施されている	適	
		樹木・花壇は見栄え良く管理されているか	現地確認	適切に管理されている	適	
		草刈りや除草はされているか	現地確認	適切に実施されている	適	
環境衛生管理業務		快適に利用できる環境となっていたか	現地確認	適切に実施されている	適	
廃棄物処理業務		廃棄物は適切に分別が行われていたか	現地確認	適切に実施されている	適	
備品管理業務		利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	現地確認	適切に管理されている	適	

総合コメント

施設利用者及び主催事業参加者に施設利用等の満足度及び改善点のアンケート調査を行い、指摘及び要望については、職員間で情報共有し、速やかな対応に努めています。
施設管理については、業者に委託し、適切な管理に努めています。また、職員間で入念な打ち合わせを行うことによる準備、現場状況の的確な把握により、サービスの質の向上に努めています。